

令和8年度 学校経営方針

I 学校経営全体構想

【学校教育目標】

○基本目標

「確かな学力を身に付けた、心身ともに健康で、たくましく生きる児童の育成」

○具体目標

すず：進んで学び、やりぬく子	(知) かしこく
か：考えて行動し、やさしい心をもった子	(徳) やさしく
け：健康で、明るく元気な子	(体) たくましく

【めざす学校像】

- 1 確かな学力が身に付く学校
- 2 豊かな人間性が育まれる学校
- 3 健やかな心と体が育まれる学校
- 4 生き抜く力を培える学校

【めざす児童像と教師像】

めざす児童像	めざす教師像
○ 明るくたくましい子ども あいさつ 体力 健康	◎ 使命感・情熱をもち 信頼される教職員
○ 主体的によく学ぶ子ども 基礎・基本 学ぶ意欲	◎ 同僚性・協調性のある教職員
○ 助け合い励まし合う子ども 思いやり 協力	◎ 子どもと共に伸びる教職員

II 学校経営目標(3つの柱)

- (1) 心の居場所のある安心・安全な学校 (心づくり)
- (2) 確かな学びで主体性を高める学校 (授業づくり)
- (3) 地域と共にある 信頼される学校 (体制づくり)

【学校経営方針】

- ① 子どもたち一人一人が安心・安全で、地域から信頼される学校。
- ② 教職員、保護者、地域が「風通しのよい」学校。
- ③ 「認め、ほめ、励ます」方針のもと、自己肯定感を高める積極的な生徒指導を推進し、子供たち一人一人が自信をもつ学校。
- ④ 「主体的・対話的な深い学び」に向け、授業改善を積極的に推進する学校。
- ⑤ 教職員が教育公務員としての自覚と責任をもち、信頼される学校。

III 具体的重点目標

確かな学力の育成	豊かな人間性の育成	健やかな体の育成
○「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ・校内研修の充実 ・「はばプラⅡ」の活用 ○1単位時間の授業の充実 ・「資質、能力」の明確化 ・「めあて」「伝え合い」「振り返り」活動の充実 ○群馬県教育ビジョンの実現 ・自己決定、対話交流、試行錯誤の重視 ○デジタル学習基盤の活用 ・効果的な活用の研修と実践 ○特別支援教育の充実 ・一人一人のニーズに応じた支援	○あいさつの励行 ○正しい言葉遣い ・言語環境の整備 ○規範意識の向上 ○望ましい集団活動の育成 ・異年齢交流活動の活性化 ○自尊感情の向上・非認知能力の育成 ・特別活動の充実 ・道徳教育の充実・改善 ○人権教育の推進 ・多様性の尊重 ○いじめの根絶 ・組織的、継続的な取り組み ○キャリア教育の充実	○規則正しい生活 ・生活のリズムの確立 ・「早寝・早起き・朝ご飯」 ○魅力的な体育授業づくり ・体力向上プランの実践 ・運動の楽しさの体感 ・外遊びの推奨・奨励 ○健康教育の充実 ・自己管理能力 ・食物アレルギー等の共通理解 ○安全、防災教育の充実 ・自分の命を守る意識の向上 ○食育の推進 ・栄養教諭の給食指導